

1

- (1) (2) (3) (4)
- (5) (6) (7)
- (8) (9) (10)

2

- 問1 (1) (2) (3)
- 問1 (3) : 完答
- 問2 問3 (1) (2) (3)
- 問4 (1) (2) 問5

3

- 問1 問2 問3
- 問4 問5

4

- 問1 (1) (2) (3)
- 問2 (1) (2) (3)
- 問3 (1) (2) (3)
- 問4 問5 問6
- 問7 ③ ⑤ 問8

問8 : 完答

配点 ・各2点×20問 ・各3点×20問 下線部 : 漢字・ひらがな・カタカナ指定

1

- (1) 日本が小麦を多く輸入している上位の国(2023年)は、1位：アメリカ 2位：カナダ 3位：オーストラリアです。
- (3) ア：乳用牛 イ：肉用若鶏 エ：肉用牛
- (4) 世界で漁獲量の多い国(2022年)は、中国・インドネシア・インドの順で、日本は世界第8位です。
- (5) ア：愛媛県(マダイやブリの養殖)
イ：青森県(ホタテ貝の養殖)
ウ：福井県・京都府(沿岸に多くの原子力発電所がある)
- (9) 東北自動車道沿いにI C工場が立地している東北地方がシリコンロードとよばれていることと区別しておきましょう。
- (10) ア：鳴子こけし(宮城^{みやぎ}伝統こけし)は宮城県の伝統的工芸品です。

2

- 問1 (1) ア：みかん(和歌山県=紀^きノ川・有田川流域 愛媛県=宇和海沿岸)
ウ：りんご(青森県=津軽^{つがる}平野 長野県=長野^{ぼんち}盆地・松本盆地 岩手県=北上盆地)
エ：ぶどう(山梨県=甲府^{こうふ}盆地 岡山県=岡山平野「マスカット」)
- (2) エ：てんさいは砂糖の原料です。
- (3) 野菜の促成栽培は、暖流の日本海流に面していて冬でも比較的暖かい、高知平野や宮崎平野でさかんに行われています。
ウ：中央高地=夏でも涼^{すず}しい気候を利用した野菜の抑制^{よくせい}栽培(キャベツやレタス、はくさいなど)
- 問3 (2) ウ：根釧^{こんのう}台地は一大酪農地帯です。北海道で客土によって一大稲作地帯となったのは、石狩^{いしかり}平野です。
- 問4 (2) イ：米 ウ：野菜 エ：大豆
- 問5 ア：外国からの安い農作物の輸入量が増えると、日本国内の農家が打撃^{だげき}を受ける可能性があります。

3

- 問3 太平洋を北上する暖流である日本海流(黒潮)と区別しておきましょう。
- 問4 ア：釧路港ー北海道 イ：焼津港ー静岡県 ウ：境港ー鳥取県 エ：銚子港ー千葉県
エ：房総半島の沖合には冬の潮目ができます。夏の潮目は三陸海岸沖にできます。
- 問5 A：沖合漁業 B：遠洋漁業 C：沿岸漁業 D：海面養殖業

4

- 問1 (1) 日本が鉄鉱石を多く輸入している上位の国(2022年)は、1位：オーストラリア 2位：ブラジル 3位：カナダです。
- (2) ウ：中京工業地帯に属する四日市市(三重県)は、石油化学工業がさかんな都市です。
ア：岡山県(瀬戸内^{せとうち}工業地域) イ：神奈川県(京浜工業地帯) エ：北海道
- (3) イ：日本 ウ：インド エ：アメリカ
- 問2 (2) ア：中国 イ：アメリカ エ：ドイツ
- 問3 (1) ア：鉄鉱石の自給率 ウ：液化天然ガスの自給率 エ：石灰石^{せっかい}の自給率
- (3) ア：石油化学製品の原料はナフサです。パルプは木材を細かく砕^{くだ}いた紙の原料です。
ウ：たい肥は家畜のふんや糞などの混合物を発酵^{わら}させてできる有機肥料^{こんごう}です。化学肥料と区別しましょう。
エ：石油化学工業の工場群(=コンビナート)は、原料である原油の輸入と化学製品の輸出に便利な太平洋ベルトの臨海部^{りんかい}に建てられることが多いです。
- 問5 ア：機械の割合が比較的高い→京浜工業地帯 イ：機械の割合が非^ひ常^{じょう}に高い→中京工業地帯
ウ：金属の割合が高い→阪神工業地帯 残ったエ→北九州工業地帯
- 問6 よう業でつくられる製品には、陶磁器やセメント、ガラスなどがあります。
- 問7 ア：金属(20世紀は減少・21世紀は増加傾向) イ：機械(現在第1位)
ウ：化学(時期による変動幅^{はば}が大きい) エ：食料品(景気の影響を受けにくく、変動が少ない)
オ：せんい(年々減少・現在第5位)
- 問8 A：瀬戸内工業地域 B：東海工業地域
ア：鹿島臨海工業地域 イ：京葉工業地域 エ：北陸工業地域 オ：関東内陸工業地域